



令和6年1月31日

広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
(国立大学経営改革促進事業・広島大学 75+75 周年記念事業)

令和5年度市民公開講座
「多極化社会と被爆の記憶～普遍的な平和を創るために～」
を開催します

情報提供

ウクライナ、パレスチナ、シリアで継続する戦いは、国際社会と経済の基盤を揺るがし、核の緊張さえ高めています。国家間やコミュニティ間では、記憶紛争が激化し、精神的分断を進行させています。

世界、そして社会が「多極化」していく中で、「普遍的」な平和は構築できるのか。情報が攪乱するデジタル社会で、「被爆の実相と記憶」の忘却の危機に対し、国際情勢を見据えながら、私たちは具体的に何ができるのか。

戦後 79 年、広島の記憶継承における喫緊の問題をメディアと安全保障の観点から共に考え、国内外の取り組みの事例を報告します。

日時：令和6年2月24日（土） 13:00～15:20（開場 12:30）

会場：広島国際会議場 ヒマワリ

特別講演：アンドリュー・ホスキンス（英国国立グラスゴー大学 教授）

パネリスト：川野徳幸（広島大学平和センター センター長/教授）

ファンデルドゥース瑠璃（広島大学平和センター 准教授）

滝川卓男（広島平和記念資料館 館長）

小山亮（広島平和記念資料館 学芸員）

モデレーター：友次晋介（広島大学平和センター 副センター長/准教授）

参加費：無料

日・英同時通訳、手話通訳（日本語）あり、バリアフリー対応
対面のみでの開催となります。

会場準備の都合上、事前登録にご協力ください。

（※切：令和6年2月20日（火））



左記の QR コード、または以下の URL からお申込下さい。

参加申込 URL : <https://forms.office.com/r/CF9gbJaa3T>

【お問い合わせ先】

広島大学平和センター

Tel : 082-542-6975（平日9：30～16：30）

FAX : 082-245-0585

E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）





広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
国立大学経営改革促進事業・広島大学75+75周年記念事業



令和5年度 市民公開講座 多極化社会と被爆の記憶 ～普遍的な平和を創るために～

特別講演 アンドリュー・ホスキンス
(英国国立グラスゴー大学社会科学科グローバル安全保障教授)

川野徳幸、友次晋介、ファンデルドゥース瑠璃 (広島大学平和センター)
滝川卓男・小山亮 (広島平和記念資料館)

2024年2月24日 (土) 12:30開場 13:00-15:20 広島国際会議場ヒマワリ



参加無料・要予約
2月20日 (火) 必着



お申込みは
QRコード
URL・FAX
お電話で。

日英同時通訳
手話通訳
完備

Tel: 082-542-6975
平日 (9:30-16:30)
Fax: 082-245-0585
広島大学平和センター

<https://forms.office.com/r/CF9gbJaa3T>

令和5年度 市民公開講座 多極化社会と被爆の記憶 ～普遍的な平和を創るために～

13:00-13:05 開会の挨拶



川野徳幸 Noriyuki Kawano 広島大学平和センター長、平和センター・大学院人間社会科学研究科教授。博士（医学）。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授などを経て、2013年6月から同センター教授。2017年4月、センター長に就任。専門は、原爆・被ばく研究、平和学。

13:05-13:45 特別講演「Forgetting Hiroshima: The crisis of living memory in the digital era
広島の忘却ーデジタル社会と『生ける記憶』の危機ー」



アンドリュー・ホスキンス Andrew Hoskins 英国国立グラスゴー大学社会科学科グローバル安全保障教授。多領域横断型の分析を用いて、スマートフォンの台頭と変化を続ける社会的役割、および技術面・精神面のみならず社会全体に与える影響を明らかにし、戦争・紛争、個人情報、アイデンティティ、匿名性など社会文化の将来動向を予測。国際記憶学会および学会誌「Memory Studies」のほか、新分野を開拓し代表する学術誌「Memory, Mind & Media」、「Digital War」などの創設者・代表。英学術出版社Palgrave社の「記憶学」シリーズ共同編集長。グラスゴー大学で発足したメディア・文化・社会プログラムは恒常的に入学者数定員を超えている。日本における記憶学設置・展開の国際共同研究(JSPS 21KK0032) 海外共同研究者。

13:45-13:55 (休憩)

13:55-14:15 「オープンハイマーと「75年は草木も生えぬ」街の人々ー生ける記憶の環境研究からー」



ファンデルドゥース瑠璃 Luli van der Does 広島大学平和センター・大学院人間社会科学研究科准教授。博士（社会科学）。英国立エディンバラ大学言語学部、ケンブリッジ大学応用言語学研究センター、シェフィールド大学東洋学研究所、ケンブリッジ大学アジア・中東学部の教員・研究員を経て2019年より現職。専門は実証記憶学、言説表象分析、社会心理言語学。ICMEMO（公共に対する犯罪犠牲者追悼のための記念博物館国際委員会）委員。「Memory, Mind & Media」など記憶学学術誌の査読・編集委員。日本における「記憶学」設置・展開に向けた国際学術プロジェクト（JSPS21KK0032）代表。

14:15-14:35 「子を残して被爆死した親たちー入れ替えられた本館展示資料からー」



小山亮 Ryo Koyama 広島平和記念資料館学芸員。明治大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（史学）。専門は日本近現代史。明治大学文学部助手などを経て2015年4月より現職。本館常設展示リニューアル（2019年4月）、企画展「新着資料展ー令和3年度寄贈資料ー」（2023年9月～2024年2月）、本館展示資料入替（2024年2月）に携わる。

14:35-14:45 (休憩)

14:45-15:15 パネルディスカッションと質疑応答（モデレーター 友次晋介）



友次晋介 Shinsuke Tomotsugu 広島大学平和センター・大学院人間社会科学研究科准教授。博士（法学）。ジョージワシントン大学シグールアジア研究センター客員研究員、（独）科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）アソシエイトフェロー、名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教、広島大学大学院国際協力研究科准教授等を歴任。専門は、科学外交、科学技術を介した社会史、パブリックディプロマシー、国際関係史研究。

15:15-15:20 閉会の挨拶



滝川卓男 Takuo Takigawa 広島平和記念資料館長。広島大学経済学部卒。1983年に広島市役所入庁。市民局平和施策総合推進担当課長、企画総務局東京事務所長、こども未来局長などを歴任。担当課長時に被爆体験伝承者養成事業の準備に携わる。2019年4月より現職。

お申し込み方法 URL <https://forms.office.com/r/CF9gbJaa3I> または QRコード

Tel.: 082-542-6975 ・ FAX:082-245-0585 平日（9:30-16:30）

